

SAKURA

2012.7 July

No. 231

CONTENTS

- 02 / ノースアジア大学:八峰町観光PR大使に就任
オープンキャンパス
- 03 / 看護福祉大:体育祭 ウィンドオーケストラ
- 04 / 明桜高校:レスリングで中国遠征 ほか
- 05 / 幼稚園:サッカー教室、英語教室 ほか
- 06 / 2011年度決算
- 07 / 2012年度予算、雪国民俗館第2・3回企画展
- 08 / インフォメーション ほか



明桜高校女子サッカーチームが活動開始

八峰町の魅力を発信

観光学科生が観光 PR 大使に委嘱

5月11日、ノースアジア大学で八峰町観光PR大使への委嘱状の授与式が行われ、安藤郁美さん（観光学科3年）と畠山愛里沙さん（観光学科2年）の2人が同町観光協会の笠原幸子会長から委嘱状を受けました。

委嘱を受けた安藤さんは、「八峰町では、日本海に沈む夕日がきれいな風景を見ることができます。このほかにも、昨年同町で調査・体験した自然豊かな場所を多くの方に知つていただけるようにPRをしていきたいと思います」と抱負を述べました。

6月2日に行われた白神山地ニツ森の山開きイベントでは、観光PR大使としての初仕事、テープカットの補助作業を行い、自然観察会で参加者らと交流しました。

畠山さんは、「自然観察会には、地元の方だけでなく県外からも多数ご参加いただきました。地元の方にニツ森の自然について教えていただき、八峰町の自然の素晴らしさを強く実感しました。観光PR大使として自分にできることを精一杯行い、八峰町の豊かな自然だけでなく、その他の魅力も積極的に

伝えたいと思います」と、初仕事を終えての感想を述べました。

委嘱を受けた2人は、1年間八峰町観光PR大使として活動します。



≡ オープンキャンパス開催 ≡



ノースアジア大学・秋田看護福祉大学・秋田栄養短期大学のオープンキャンパスを下記のとおり開催いたします。各学科の教育内容や入試情報等を高校生と保護者、高校教諭の皆さまへご説明いたします。複数回の参加も可能ですので、ぜひご家族ご友人をお誘いのうえ、お気軽にご参加いただき、本学の魅力を感じてください。なお、詳細は各大学のホームページをご参照ください。

■ノースアジア大学・秋田栄養短期大学

7月28日(土) 8月18日(土) 9月29日(土)
10月20日(土) 平成25年3月17日(日)

ノースアジア大学

<http://www.nau.ac.jp/class/02.html>

秋田栄養短期大学

<http://www.akita-eiyo.ac.jp/class/02.html>

ノースアジア大学 受験生の方へ

検索

■秋田看護福祉大学

8月4日(土) 8月7日(火) 9月8日(土)

平成25年3月20日(水)

※8月4日・7日は同じ内容で実施いたします。

※10月20日(土)・21日(日)大学祭(逢星祭)開催時に、

個別進学相談会を行います。

<http://www.well.ac.jp/exam/opencampus.html>



【オープンキャンパス、進学相談会等に関するお問い合わせは】

●ノースアジア大学・秋田栄養短期大学 入試広報課

TEL.018-836-1342 e-mail:nyushi@nau.ac.jp

●秋田看護福祉大学 学務課入試係

TEL.0186-43-6510 e-mail:nyushi@well.ac.jp

体育祭で1年生が団結

秋田看護福祉大学



6月9日、秋田看護福祉大学での恒例行事、体育祭を開催しました。

この体育祭は、日々の運動不足を解消し、楽しみながら級友と親交を深めて今後の大学生活を楽しむ基礎を作り上げることを目的に毎年開催しています。

体育祭は学生会会長をはじめ、体育局長ら委員会のメンバーが企画立案から当日の運営までを担当します。

競技種目は、大縄、バドミントン、バスケットボール、バレー、卓球、ソフトテニスの7種目に、今年新たに綱引きも加わり、クラス対抗として全員がいずれかの種目に参加できるよう企画されています。

大会では和気あいあいとした中でも真剣に競い合い、優勝を狙う選手をクラス一丸となって応援するシーンなども見られました。

総合優勝は看護学科1年生、準優勝は福祉学科1年生が獲得し、今年の体育祭は看護・福祉学科の1年生が団結力を発揮しました。

週明けから再び講義や演習、各施設での実習が始まります。また緊張する日々が続きますが、この日は看護福祉大学が一つになり、各自がリフレッシュしました。

参加した学生たちは、「入学してからまだ3ヶ月、同級生であってもまだ話しをした事がない学生もいました。今日の体育祭では新しい友達もできましたし、クラスのまとまりにも感動しました」、「実習は大変ですが、今日一日皆と楽しく汗をかくことができました。また来週から頑張ります」などと感想を述べました。



♪ ウィンドオーケストラコンサートを開催

5月19日、秋田市文化会館大ホールで、ノースアジア大学吹奏楽団と明桜高校吹奏楽部の合同の吹奏楽団「ウインドオーケストラ」がコンサートを行いました。

第一部は、本学総合研究センター客員教授でテノール歌手の小林彰英氏とピアニストの腰塚賢二氏による声楽ステージです。滝廉太郎の「花」で幕を開け、腰塚氏のピアノソロなどを交えて、バラエティ豊かな選曲で演奏しました。

第二部は、ウインドオーケストラが、明桜高校吹奏楽部顧問の石崎聖也氏の指揮で演奏しました。バレエ音楽「サロメの悲劇」を重厚に演奏した後は、一転して明るく軽快に、ユーミンやディズニー、カーペンターズなどのポップスを中心にメドレーで演奏しました。

アンコールでは再び小林氏に登場いただき、「誰も寝てはならぬ」を演奏。



続いて、腰塚氏のピアノで、小林氏と共にウインドオーケストラのメンバーが合唱を披露しました。普段聞くことのない、吹奏楽団による合唱に、会場からは大きな拍手が起きました。

明桜高校

レスリング日本高校選抜チームの一員として競技会に出場



明桜高校レスリング部の多胡島伸佳さん(3年)がレスリングの日本高校選抜チーム(12人)の一員として第8回日中高校交流競技会に出場しました。

競技会は、5月7日から10日までの4日間、中国・福建省福州市で開催し、地元チームと合同練習や交流試合を行いました。

3試合に出場した多胡島さん(66kg級)は、3戦3勝と勝負強さを見せました。

帰国した多胡島さんは、「気候や生活様式の異なる環境の中で戸惑いはありましたが、自分の持っている力を十分に発揮できたと思います」と話してくれました。

サッカー日本代表(14歳以下)の練習合宿にコーチとして参加

日本サッカー協会が主催する、U-14(14歳以下)サッカー日本代表候補選手の練習合宿に、明桜高校サッカーチーム監督の菊池祐太先生がコーチとして選抜され、参加しました。

この練習合宿は、5月16日から5月20日までの4泊5日、静岡県の時之栖スポーツセンターで行われました。

東日本地区の13歳と14歳の日本代表候補選手約60人が参加したこの合宿では、U-14、U-17の代表監督や日本サッカー協会のコーチのほかに、地域のクラブチームや学校など様々なチームの中から選ばれた監督も選手の指導にあたりました。東北からは菊池監督を含め、3人の指導者が参加しています。

菊池監督は、「合宿に参加していた生徒の多くがJリーグのジュニアユースに所属している選手でレベルが高かったのですが、指導を積極的に取り入れる素直さがありました。また、やる気のある選手が多く、代表に選ばれるために更に高いレベルを目指して自ら行動し、わたしたちから指示されなくても規律ある私生活を送ることができる選手が多いと感じました」と、代表候補選手を指導した感想を述べ

ました。また、代表合宿で体験したことは全てが勉強になったと話し、特に、「特別な練習内容でなく、むしろどのチームも取り入れているメニューでも、選手のやる気で内容の濃さや身の付き方が決まるのだということを実感しました。明桜も含め東北の選手は控えめなので、生徒のメンタル面にいい影響を与えることができるような声の掛け方を工夫していくと思っています」と、今回の経験を今後の明桜高校サッカーチームの指導に生かしていきたいと語りました。



内陸線イメージイラストで大賞を受賞

秋田内陸縦貫鉄道では、秋田内陸線の愛称が「あきた♥美人ライン」に決定したことに伴い、全国の高校生からイメージイラストを募集していました。

この大賞に、明桜高校3年で文芸イラスト同好会の秋林優花さんの作品が選ばれました。

6月23日、阿仁合駅で、「あきた♥美人ラインイメージイラスト表彰式」が行われ、秋林さんへ賞状と賞品が手渡されました。また、秋林さんのイラストを元にしたヘッドマークが作成され、7月の1ヶ月間内陸線の車両に取り付けられることになっています。

秋林さんは、「内陸線の特徴をつかんだイラストを描くために、ホームページを見て風景や車両を参考にしました。内陸線は車両の種類が多く、色も様々なので、イラストにしたときに映えるような色の車両を選びました。大賞受賞の知らせを聞

いて驚き、信じられない気持ちでしたが、とてもうれしいです」と受賞の感想を話してくれました。

また、内陸線を利用するお客様の投票で選ばれた特別賞に、明桜高校3年の永坂彩夏さんの作品が選ばれています。



はじめてのサッカー 楽しかったよ

のびのび幼稚園

— サッカー教室が始まりました —

のびのび幼稚園では、今年からサッカー教室が始まりました。

6月26日は、はじめてのサッカー教室の日です。年長さんのキラキラ組、ぴかぴか組のみんなが、明桜高校サッカー部監督の菊池祐太先生からサッカーを教えてもらいました。

はじめに、サッカーは足でボールを蹴るもので、ゴールキーパー以外は手を使ってはいけないということを教わりました。ボールに触る前には、しっかりと準備体操をしました。今までやったことのない難しい姿勢でしたが、みんな頑張ってできましたよ。

いよいよボールに触ってみます。キラキラ組、ぴかぴか組に分かれて、交代でボールに足で触ってみました。友達がボールに触る順番の時には、多くの園児が自分も一緒に同じ動きをして練習していました。

最後に、先生からの「楽しかった人？」の問い合わせに、「楽しかった！」と元気に手をあげました。

サッカー教室が終わってからも、園児たちは菊池先生に質問したり、感想を話したりしていました。



体を動かしながら覚えよう

さくら幼稚園

— 英語教室が始まりました —

5月24日、つばめ組（年長組）で英語教室が始まりました。明桜高校のソーフィン先生がやってくると、園児たちはみんな元気に挨拶しました。

最初に自己紹介の仕方を教わって、二人一組で練習。ソーフィン先生がやってきた国スコットランドの紹介があり、何に乗って日本にやってきたのかのクイズでは、「自転車！」 「船！」 「飛行機！」などと声が上がりました。

続いて、動物のイラストを見ながら鳴き声と名前を教わり、動物の鳴き声を聞いてその動物になってみる変身ゲームをしました。ヘビに変身した園児たちにソーフィン先生が取り囲まれる場面もありましたよ。

先生が英語の絵本を読んでくれる時には、みんな真剣に聞き入っていました。

最後に「幸せなら手をたたこう」を英語で歌しながら体を動かし、あっと言う間に1時間の英語教室が終わりました。



くまさんに勝つぞ！

— 端午の節句 —

5月2日、さくら幼稚園で端午の節句のお祝いをしました。

はじめに、園長先生から端午の節句についてのお話があり、みんなでこいのぼりの歌を歌いました。

歌の後は、みんなが楽しみに待っていた、くまさんとの相撲です。つばめ組さんが、くまさん役のおじさんたちと相撲を取り、はと組さん、ひばり組さんたちは「頑張れ！」と応援。

つばめ組さんの活躍で、全員がくまさんに勝ちました。最後に、つばめ組さんが新聞紙で作ったかぶとをはと組さん、ひばり組さんにプレゼントし、全員がかしわ餅のお土産をもらいました。



平成23年度決算は、5月30日の理事会、評議員会において承認されました。

平成23年度において学園では、「教育の質の向上」、「学習意欲の喚起」、「学生・生徒の学習と生活支援の充実」を柱として各種の事業を継続的に行ないました。

学生による授業評価や教職員による講義内容の研究等の実施により、教育内容の質の向上が促進され、学生・生徒の教育に着実な成果をあげることができました。

また、23年度も慶熙大学校との交流や海外でのインターンシップも行なわれ国際化に対応した教育施策として着実な成果が期待できます。

さらに、教員、学生が一体となった特色ある教育プログラムの実施により、観光地調査研究や移動法律相談、模擬裁判、公開講座を実施し、参加者と学生との双方に大きな利益を得ることができました。学生のキャリア教育についても、支援体制の強化を進め、各種講座や対策試験の他、学生が効果的に就職活動できるよう環境整備を行いました。これらの事業については秋田県の「魅力アップ支援事業補助金」として採択され補助金が交付されています。

国家試験等センターでは、各研究室の整備により、新たに机等の増設の他、専門知識の習得に対応した専門員の配置や、受験対策に配慮した講座を開催し、公務員として地域へ貢献できる人材

平成23年度決算

育成に力を入れました。

総合研究センターでは地域との交流や研究教育の中核機関として、

各種講座を開き専門知識や広い視野を身につける教育のサービスを提供しました。さらに、雪国民俗館では、新たに文化遺産の一部を公表し、多くの方々から来館いただき、民俗学や民俗資料の情報発信の場として地域社会との連携を図りました。

高校では、土曜日授業など、生徒の学力向上に向けた各種の対策が好評を得ています。国際交流においては、台湾の国立淡水高級商工職業学校と姉妹校として調印し、文化交流を行ないました。

幼稚園においては、さくら幼稚園の入園希望者の増加により定員充足率100%を超えるなど、地域において需要度の高い幼稚園となっています。また、のびのび幼稚園については、食育・論語・英語教室など多様な教育を実施し、さらに併設の保育園により幼・保一型施設としての利便性の充実がさらに期待されています。

〔平成23年度決算概要〕

収入については、帰属収入が2,921,909(千円)となり、基本金組入額を差し引いた消費収入合計額は、2,899,527(千円)となりました。

これに対して支出は、教職員の人事費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費、減価償却等で2,543,532(千円)となり、355,994(千円)の収入超過となりました。翌年度繰越消費収入超過額は2,206,750(千円)となりました。

収入の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	増(△)減
学生生徒等納付金収入	1,751,323	1,765,796	△ 14,473
手数料収入	28,206	33,959	△ 5,753
寄付金収入	50	50	0
補助金収入	694,714	726,232	△ 31,518
資産運用収入	30,909	48,007	△ 17,098
事業収入	183,952	179,847	4,104
雑収入	131,293	166,970	△ 35,677
前受金収入	251,580	358,488	△ 106,908
その他の収入	396,531	415,519	△ 18,988
資金収入調整勘定	△ 487,796	△ 560,509	72,713
前年度繰越支払収入	3,896,227	3,896,227	0
資金収入の部合計	6,876,989	7,030,589	△ 153,600

支出の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	増(△)減
人件費支出	1,470,123	1,456,181	13,941
教育研究経費支出	469,999	460,479	9,519
管理経費支出	287,247	249,400	37,846
施設関係支出	1,700	1,561	138
設備関係支出	41,934	31,702	10,231
資産運用支出	435,000	435,000	0
その他の支出	435,669	435,044	624
〔予備費〕	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 164,813	△ 232,632	67,819
次年度繰越支払資金	3,900,130	4,193,851	△ 293,721
資金支出の部合計	6,876,989	7,030,589	△ 153,600

<千円未満切り捨て>

資金収支計算書

消費収支計算書

貸借対照表

(単位：千円)

科目	予算	決算	増(△)減
学生生徒等納付金	1,751,323	1,765,796	△ 14,473
手数料	28,206	33,959	△ 5,753
寄付金	550	1,096	△ 546
補助金	694,714	726,232	△ 31,518
資産運用収入	30,909	48,007	△ 17,098
事業収入	183,952	179,847	4,104
雑収入	131,293	166,970	△ 35,677
帰属収入合計	2,820,947	2,921,909	△ 100,962
基本金組入額合計	△ 43,634	△ 22,382	△ 21,251
消費収入の部合計	2,777,313	2,899,527	△ 122,214

(単位：千円)

科目	予算	決算	増(△)減
人件費	1,432,693	1,418,286	14,406
教育研究経費	853,899	842,229	11,669
管理経費	311,847	273,220	38,626
資産処分差額	1,302	745	556
徴収不能引当金繰入額	8,700	8,669	30
徴収不能額	8,000	382	7,618
〔予備費〕	5,000	0	5,000
消費支出の部合計	2,621,441	2,543,532	77,908
当年度消費収入超過額	155,872	355,994	
前年度繰越消費収入超過額	1,850,755	1,850,755	
翌年度繰越消費収入超過額	2,006,627	2,206,750	

<千円未満切り捨て>

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末	増(△)減
固定資産	23,401,979	23,386,870	15,108
有形固定資産	11,619,343	11,990,603	△ 371,260
その他の固定資産	11,782,635	11,396,266	386,369
流動資産	4,422,841	4,165,767	257,074
資産の部合計	27,824,820	27,552,637	272,183

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末	増(△)減
固定負債	108,999	146,894	△ 37,895
流動負債	714,750	783,048	△ 68,298
負債の部合計	823,749	929,943	△ 106,193
基本基金の部			
第1号基本基金	22,737,846	22,715,464	22,382
第2号基本基金	900,000	900,000	0
第3号基本基金	761,473	761,473	0
第4号基本基金	395,000	395,000	0
基本基金の部合計	24,794,320	24,771,938	22,382
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	2,206,750	1,850,755	355,994
消費収支差額の部合計	2,206,750	1,850,755	355,994
負債の部・基本基金の部及び消費収支差額の部合計	27,824,820	27,552,637	272,183

<千円未満切り捨て>

平成24年度予算は、平成24年3月27日の理事会、評議会において承認されました。これによると平成24年度の資金収支予算是総額6,781,345千円となりました。

〔平成24年度予算概要〕

大学を取り巻く環境は、少子化の影響による人口の減少、経済不況、私大経常費補助金の削減、ゼロ金利政策、社会ニーズの変化等で私学経営は一段と厳しい状況下に置かれています。また、震災の影響により私学経営に及ぼす地域人口減による入学志願者数への影響等、より厳しさが増しております。そのような状況の

平成24年度予算

中においても魅力ある教育の展開、特色ある大学の明確化を進めるための予算を編成しました。

基幹収入である学生生徒等納付金収入においては全学をあげて学生・生徒数の確保に努め、人件費支出は給与の見直しによる抑制、新規事業についてはスクラップ & ビルドに基づいた予算の編成としています。また、昨年に引き続き喫緊の課題である学生募集対策経費、就職支援に関する経費に重点をおいた予算計上としています。

収入の部

(単位：千円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
学生生徒等納付金収入	1,759,580	1,751,323	8,257
手数料収入	22,845	28,206	△ 5,361
寄付金収入	0	50	△ 50
補助金収入	641,892	694,714	△ 52,822
資産運用収入	27,251	30,909	△ 3,658
事業収入	179,124	183,952	△ 4,828
雑収入	34,457	131,293	△ 96,836
前受金収入	258,080	251,580	6,500
その他の収入	244,895	396,531	△ 151,636
資金収入調整勘定	△ 286,909	△ 487,796	200,887
前年度繰越支払資金	3,900,130	3,896,227	3,903
資金収入の部合計	6,781,345	6,876,989	△ 95,644

支出の部

(単位：千円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
人件費支出	1,329,340	1,442,623	△ 113,283
教育研究経費支出	501,414	469,999	31,415
管理経費支出	318,621	287,247	31,374
施設関係支出	30,000	1,200	28,800
設備関係支出	55,474	41,934	13,540
資産運用支出	334,000	435,000	△ 101,000
その他の支出	306,960	413,669	△ 106,709
〔予備費〕	30,000	50,000	△ 20,000
資金支出調整勘定	△ 81,613	△ 164,813	83,200
次年度繰越支払資金	3,957,149	3,900,130	57,019
資金支出の部合計	6,781,345	6,876,989	△ 95,644

資金収支予算書

消費収支予算書

(単位：千円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
学生生徒等納付金	1,759,580	1,751,323	8,257
手数料	22,845	28,206	△ 5,361
寄付金	500	550	△ 50
補助金	641,892	694,714	△ 52,822
資産運用収入	27,251	30,909	△ 3,658
事業収入	179,124	183,952	△ 4,828
雑収入	34,457	131,293	△ 96,836
帰属収入合計	2,665,649	2,820,947	△ 155,298
基本金組入額合計	△ 84,952	△ 43,634	△ 41,318
消費収入の部合計	2,580,697	2,777,313	△ 196,616

(単位：千円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
人件費	1,329,340	1,405,193	△ 75,853
教育研究経費	875,709	853,899	21,810
管理経費	334,331	303,847	30,484
資産処分差額	502	502	0
徴収不能額	8,000	8,000	0
〔予備費〕	30,000	50,000	△ 20,000
消費支出の部合計	2,577,882	2,621,441	△ 43,559
当年度消費収入超過額	2,815	155,872	
前年度繰越消費収入超過額	2,006,627	1,850,755	
翌年度繰越消費収入超過額	2,009,442	2,006,627	

雪国民俗館で企画展示を開催

4月2日から4月27日までの平日、40周年記念館1階で、雪国民俗館の第2回企画展示「食と民具展」を開催しました。秋田の生活で使われてきたお膳、器、焼き物、盃など約80点を展示。ノースアジア大学・秋田栄養短期大学の入学式に出席した、新入生のご家族の皆様にもご覧いただきました。

続いて、第3回の展示会として6月30日から7月31日まで、雪国の暮らしに適した特性を持つワラを使用した民具を紹介する企画展「わらが語る雪国の暮らし展」を開催。先人たちが築いてきた、風土性を持った生活文化の一端を紹介しています。また、この回から展示会場を広げ、提燈やランプ等のあかり具や、箱膳、弁当箱等の食器具といった、過去の企画展で公開した民具も一部展示しています。



第5回 ノースアジア大学文学賞

応募要項

【応募締切】2012年9月8日(土)

【発 表】2012年12月1日(土) 文学賞授賞式

●選考委員

内館牧子氏

脚本家

ノースアジア大学教育諮問会議委員・客員教授

石川好氏

ノンフィクション作家・評論家
ノースアジア大学客員教授

小泉健氏

学校法人ノースアジア大学理事長・学長

橋元志保氏

ノースアジア大学法学部准教授
本学教養・文化研究所長

お問い合わせは

総合研究センター TEL 018-836-6592

部 門	I 高校生の部門 (1)エッセイ(自由作品)の部 (2)短編小説の部 II 大学生・一般の部門 (1)エッセイ(自由作品)の部 ※短編小説の部は、高校生のみの募集となります。
応募内容	高校生の部門及び大学生・一般の部門において、広くエッセイを公募いたします。テーマ及び形式は自由です。なお、エッセイには、隨筆・評論を含みます。また高校生の部門のみ、「短編小説の部」を設けています。
応募規定	応募枚数は、高校生の部門、大学生・一般の部門共に400字詰め原稿用紙5~10枚です。なお応募はオリジナルで、未発表の作品に限ります。 (1) 表紙または、1枚目冒頭にタイトルと氏名を必ず明記してください。原稿用紙は縦書きで使用してください。ワープロ原稿の場合は、40字×30行で印字してください。(どちらの場合もホチキス、綴りひも等で1冊に綴じて提出してください。) (2) 住所、氏名、電話番号、年齢、職業、略歴を明記した別紙を添付し、ノースアジア大学総合研究センターまでご郵送ください。(出来れば応募要項に添付された用紙を使用してください。) (3) お一人一作品の応募に限ります。複数の応募は認められません。
応募資格	アマチュアに限ります。年齢、学歴等は不問です。
賞	I 高校生の部門 ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券) ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券) ◎学校賞…賞状と記念品 II 大学生・一般の部門 ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券) ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券)

培材大学校の金総長が来学

両大学の発展に向けて協力を

5月25日、韓国・培材大学校の金永浩総長一行の4人が本学園の小泉健理事長・学長を訪問し、会談を行いました。

培材大学校と本学は、平成22年に学術と学生の交流に関する提携を結んでいます。金氏は昨年度総長に就任し、本学への訪問が海外の提携校への初の訪問となります。

この中で、金総長は「両大学の人的交流を活発に行いたいと思います。積極的に協力して両大学がさらに発展すること願っています」と述べました。これを受けて小泉理事長は「両大学の良い面を学び、発展できるようにしたいと思います。今後も貴大学と長い交流を続けたいと考えています」と話しました。

この後、小泉理事長、金総長は両校の交流と発展のための協力体制について確認しました。



■民俗学シンポジウム

「雪国の暮らしと文化—藁の民具から—」

【日 時】平成24年9月22日(土)13:00~14:30 開場12:30

【会 場】ノースアジア大学 大会議室

【コーディネーター】

鎌田 幸男 氏 (本学法学部教授・雪国民俗館名誉館長)

昨年から始まった雪国民俗館の企画展は、第3回のテーマを「藁の民具」としました。このシンポジウムでは、雪国の暮らしに適した藁の特性について考えます。当日は、本学の常務理事で雪国民俗館館長の小泉正樹氏がご挨拶いたします。また、ノースアジア大学の学生サークル「民俗学研究会」のメンバーが活動報告を行います。

■ノースアジア大学を紹介する

テレビ番組が始まりました

6月からノースアジア大学を紹介するテレビ番組が始まりました。

番組では、ノースアジア大学を中心に、学校法人ノースアジア大学に所属する大学・短大・高校・幼稚園・保育園の日常の様子を紹介しています。

放送日時は以下の通りとなっておりますので、是非ご覧ください。

【放送日時】毎週月曜22:54~ (平成25年3月末まで)

【放送局】AKT秋田テレビ

【番組名】ノースアジアニュースレター